

(2) 博物館等

ア これまでの取り組み

市内には、博物館等の施設として、「院内銀山異人館」のほか、「高松郷土学習展示資料施設（ジオスタ☆ゆざわ）」、「雄勝郡会議事堂記念館」、「稲庭城」を設置し、数多くの文化財等を収蔵・展示しています。また、市内各所には歴史史料や生活文化に関する様々な資料、埋蔵文化財などの貴重な資料が保存されています。

これら収蔵・保存してある貴重な文化財等の滅失・散逸等を防止するとともに、活用を図り、次代の市民に継承するための種々の取り組みの方向性を示す「湯沢市文化財保存活用地域計画」を令和3年12月に策定しています。

その一環として、資料の散逸を防ぐため、旧三梨小学校の校舎を活用し、文化財資料収蔵庫を令和5年8月に設置しています。また、博物館等に求められている保存・展示機能に加え、体験・交流型の事業展開を通じて文化財に触れる機会を提供するため、令和8年度に開館予定の湯沢駅周辺複合施設内に整備する歴史展示室を文化財展示のセンター拠点とし整備するほか、そのサテライト拠点として、下記の4施設を位置づけ、文化財資料の情報発信や様々な体験の機会の提供を通じて、市民の貴重な文化財を継承することとしています。

【サテライト拠点施設】

施設 No.	施設名称	所在地	地区	所管課
博1	院内銀山異人館	上院内字小沢115	院内	生涯学習課
集15	高松地区センター (郷土学習資料展示施設)【再掲】	高松字上地6-2	高松	まちづくり協働課
文4	雄勝郡会議事堂記念館【再掲】	北荒町2-20	湯沢	生涯学習課
観2	稲庭城【再掲】	稲庭町字古館前平50	稲庭	観光・ジオパーク推進課

イ 現状と課題

施設 No.	施設名称	建築年	法定耐用年数	経過年数	延床面積 (㎡)	運営形態	職員数	支出 (千円)	収入 (千円)	利用人数
博1	院内銀山異人館	H1	38	33	435	直営管理	会2	7,035	420	1,700
集15	高松地区センター(郷土学習資料展示施設)【再掲】	H13	50	21	488		—	—	—	1,200
文4	雄勝郡会議事堂記念館【再掲】	M25	22	131	550		—	4,009	13	2,100
観2	稲庭城【再掲】	H1	47	33	752	指定管理	—	10,410 11,465	— 11,465	5,600
博2	文化財資料収蔵庫	S60	47	37	2,437	直営管理	—	3,821	—	—

※支出・収入欄の2段書きのうち、上段は市、下段は指定管理者の収支額

※文化財資料収蔵庫の支出額は見込みの額

博1 院内銀山異人館

院内銀山民俗資料並びに岩井堂洞窟考古資料等を収集、保管及び公開し、歴史文化の保護伝承並びに地域の活性化に資することを目的に設置している施設で、鉄骨造2階建て、延床面積435

m²。平成元年に新耐震基準で建設し、建築から33年を経過しています。

開館日・開館時間は、年末年始と月曜日（月曜日が祝日の場合は火曜日）を除く毎日、9時から16時30分までで、管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は7,035千円となっています。施設の入館料として420千円の収入があります。

施設は、創作活動室、PRルームで構成し、院内銀山資料・岩井堂洞窟資料を常設展示しているほか、定例の特別展示を行い、年間入館者数は約1,700人となっています。

集15 郷土学習資料展示施設（高松地区センター） 【再掲】

高松地区センターの2階部分に郷土学習資料展示施設を設置しています。施設は鉄筋コンクリート造2階建ての一部で、体験学習室、埋蔵文化財資料室、湯沢の大地の歴史室、押切伸 三途川化石資料室、湯沢の鉱山と石材資料室、地熱温泉資料室、民俗資料室1・2で構成し、延床面積は488m²。平成13年に新耐震基準で建設し、建築から21年経過しています。

開館日、開館時間は年末年始を除く毎日、9時から16時30分までで、入場料は無料です。管理運営は市直営（委託）で行い、施設の管理費は高松地区センターの管理運営費から支出しています。

ジオパーク関連資料や酒造関連資料、埋蔵文化財等の展示を行い、年間の入場者は約1,200人です。

文4 雄勝郡会議事堂記念館 【再掲】

※施設概要は1（2）文化施設を参照

観2 稲庭城 【再掲】

※施設概要は3（2）レクリエーション施設・観光施設を参照

博2 文化財資料収蔵庫

令和3年度に閉校した旧三梨小学校の校舎部分を令和5年度に文化財資料収蔵庫として使用しています。

鉄筋コンクリート造2階建てで、11部屋で構成し、延床面積2,437m²。昭和60年に新耐震基準で建設し、建築から37年経過しています。管理運営は市直営で行い、維持管理費として3,821千円を見込んでいます。

【現状と課題のまとめ】

院内銀山異人館をはじめ、郷土学習資料展示施設、雄勝郡会議事堂記念館、稲庭城には多くの貴重な文化財資料を収蔵・展示していますが、文化財保存活用地域計画に示すように、これからは、資料の収蔵・展示の機能に加え、文化財に触れ、体験し、交流する機会を提供し、より多くの市民等に湯沢市の歴史を学習する場・機会を提供していくことが求められています。

湯沢駅周辺複合施設に整備する歴史展示室を文化財展示のセンター拠点とし、他の4施設はサテライト拠点とすることから、これまでの保存・展示機能に加え、体験・交流の機会を提供できるような事業展開が必要です。加えて、管理運営手法についてもセンター拠点施設は指定管理者制度を導入することから、サテライトの4施設についても民間活力を活用した施設の管理運営のあり方について検討が必要です。

一方、市の生活文化や歴史史料、埋蔵文化財など重要な資料が、様々な施設に点在・保管されていることから散逸を防止するため、旧三梨小学校の校舎を活用して文化財資料収蔵庫を設置し

ていますが、文化財資料の収集・保存の方針（令和5年度策定）に基づき、湯沢市の歴史や生活文化等の資料の適切な管理を行っていく必要があります。

ウ 今後の方針とスケジュール

総合管理計画の今後の方向性に基づき、「施設の安全性」、「施設の必要性」、「施設の有効性」、「管理運営の効率性」の視点から検証し、分析・評価を行いました。また、分析・評価を踏まえて、施設の対応方針を定めました。これらの内容は次のとおりです。

【基本的な考え方】

- 市の歴史遺産、郷土の歴史、民俗等を後世に引き継いでいくために必要であることから、基本的に継続します。
- 市内に点在する歴史史料や生活文化に関する資料、埋蔵文化財などの収集・保存の方針を定めた収集管理の基準（令和5年度策定）に基づき、文化財資料収蔵庫を適切に管理運営していきます。
- 湯沢駅周辺複合施設に整備する歴史資料展示施設を文化財展示のセンター拠点とし、サテライトの4施設をネットワーク化し、文化財保存活用地域計画に基づき湯沢市の歴史や生活文化等の資料に触れる機会を提供できるような体験・交流型の事業の展開を図るとともに、湯沢駅周辺複合施設への指定管理者制度の導入にあわせ、民間活力を活用し、施設の連携性を高めることを目的としたサテライト4施設の管理運営について検討します。

【個別施設ごとの対応方針】

博1 院内銀山異人館

- 院内銀山民俗資料並びに岩井堂洞窟考古資料等を収集、保管及び公開し、歴史文化の保護伝承を図るため今後も継続します。
- 平成元年に新耐震基準で建設した建物であることから、保全計画に基づいた計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。

集15 郷土学習資料展示施設（高松地区センター） 【再掲】

- 高松地区センター内の郷土学習資料展示機能については、ジオパーク関連資料や酒造関連資料、埋蔵文化財等が展示される市内唯一の機能であることから今後も継続します。
- 平成13年に新耐震基準で建設した建物であることから、保全計画に基づき計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。

文4 雄勝郡会議事堂記念館 【再掲】

- 湯沢市における歴史資料の展示や市民の文化活動の場として継続します。
- 明治25年に建設した歴史的建造物として、文化財保護法等の規定に基づき、必要な補修を行い保存・活用を図ります。

観1 稲庭城 【再掲】

- 稲庭城は中世の歴史を継承する地域のシンボル施設として、また、地域の歴史的資料の展示や観光の拠点として機能していることから継続します。
- 平成元年に新耐震基準で建設した建物であることから、保全計画に基づき計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。
- 管理運営は、指定管理者制度を継続します。

博2 文化財資料収蔵庫

- 耐震基準を満たしていることから、必要な修繕を行い継続使用します。
- 保管する文化財資料は、収集管理の基準（令和5年度策定）に基づき選定します。

【年度別スケジュール】

項目	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度～2030年度 (R10)～(R12)
博物館等 【共通事項】	湯沢駅周辺複合施設の歴史展示機能と サテライト4施設の事業展開の検討		検討結果に基づく対応		
	サテライト施設の 管理運営手法の検討		検討結果に基づく対応		
院内銀山異人館 郷土学習資料展示施設 (高松地区センター) 【再掲】 稲庭城 【再掲】	保全計画に基づく改修を行い継続使用				
雄勝郡会議事堂記念館 【再掲】	法令等に基づく必要な補修を行い継続使用				
文化財資料収蔵庫	必要な修繕を行い継続使用				

エ 概算事業費と効果額

単位：千円

施設 No.	施設名称	今後の 方向性		更新費用の試算（40年間：令和2～41年度）						維持管理費	
				現状維持した場合			本計画を実施した場合			単年度の比較	
		建物	長寿 命化	大規模改修	建替	合計	長寿命化等 大規模改修	建替	合計	現状維持	計画実施
博1	院内銀山異人館	継続	●	147,030	235,335	382,365	220,545	0	220,545	2,894	2,894
博2	文化財資料収蔵庫	継続		823,659	1,318,341	2,142,000	0	0	0	3,821	3,821
集15	郷土学習資料展示施設（高松 地区センター）	継続	●	—	—	—	—	—	—	—	—
概算事業費（合計）				970,689	1,553,676	① 2,524,365	220,545	0	② 220,545	③ 6,715	④ 6,715

更新費用の試算比較 ②－①	単年度の維持管理費の比較 ④－③
△ 2,303,820 千円	0 千円

※ 郷土学習資料展示施設の更新費用及び維持管理費の金額は高松地区センターに一括計上しています。

※ 文化財資料収蔵庫の維持管理費は見込額です。